

2022年秋 彦根城パーク・アンド・バスライド社会実験を実施しました ～マイカーを「彦根インター前駐車場」に停めて専用バスで観光地へ～



社会実験の結果【利用状況】

■利用者数・駐車台数

新型コロナウイルスにより市全体の観光客が半数程度のなか、2022年秋の利用者数は前回2021年秋より倍増し、特にご当地キャラ博での彦根城内駐車場の混雑緩和等に貢献したものと考えられます。

	2017 (秋)	2018 (秋)	2019 (春)	2019 (秋)	2021 (春)	2021 (秋)	2022 (秋)
実施日数	7日間	8日間	8日間	9日間	6日間	6日間	6日間
インター前駐車場 乗車人数	1,275人	1,422人	2,356人	1,961人	995人	416人	942人
最大日利用者数	525人	621人	702人	683人	650人	107人	317人
インター前駐車場 延べ駐車台数	412台※	570台	876台	777台	417台	165台	379台

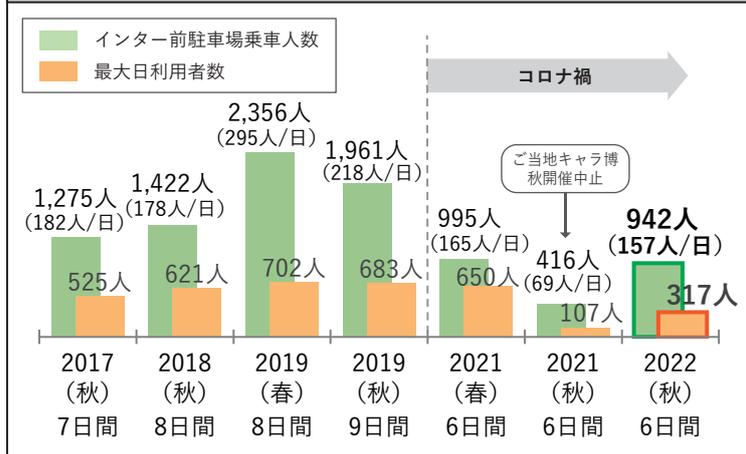
※2017年秋～2021年春の5回は、無料で実施
2021年秋、2022年秋の2回は、有料で実施

※2020年の春・秋は新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止

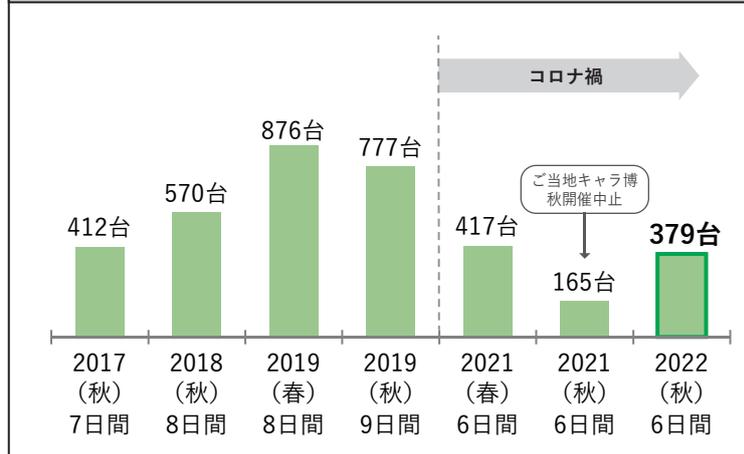
※2017年は9日間のうち2日間は悪天候のため中止

※2017年は延べ駐車台数を計測していないため、1日当りの最大駐車台数の合計値を記載

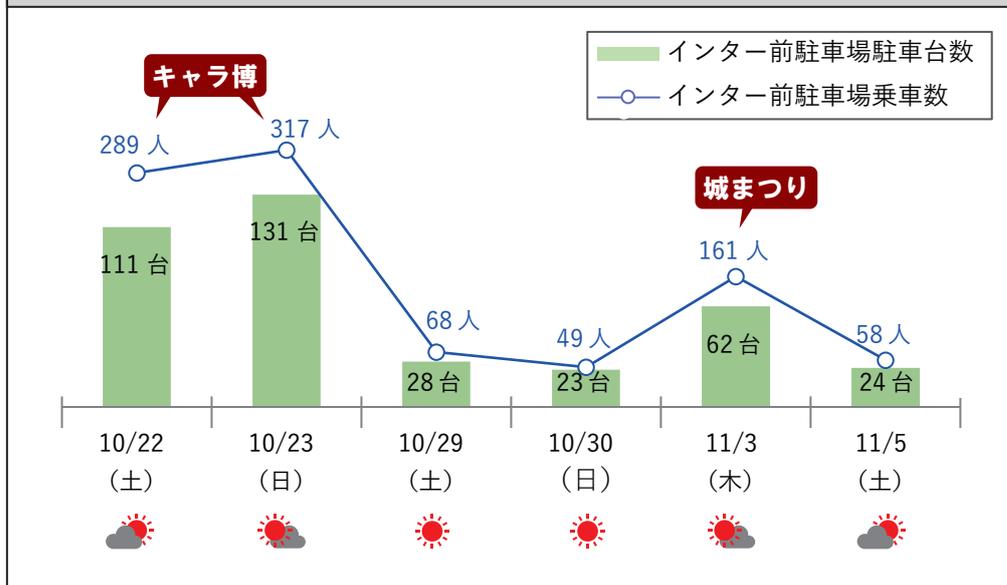
利用者数の推移



駐車台数の推移



期間中の利用者数・駐車台数



乗車券購入状況
(インター前駐車場・受付)



乗換え駐車状況
(インター前駐車場・バス停)





社会実験の結果【利用状況】

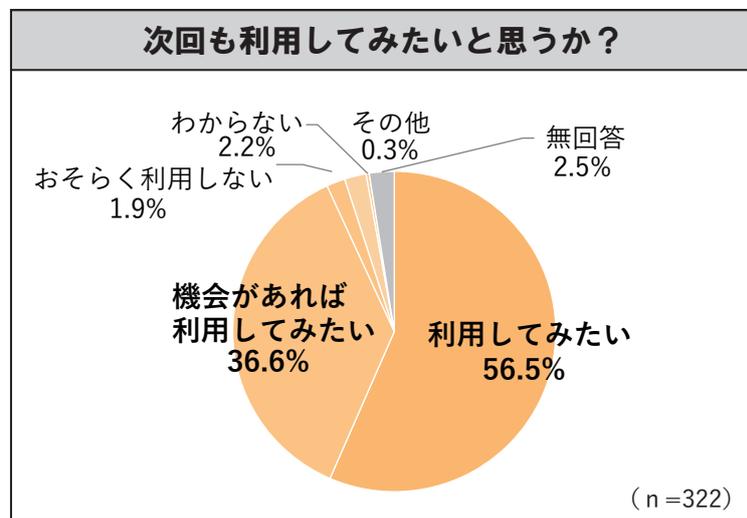
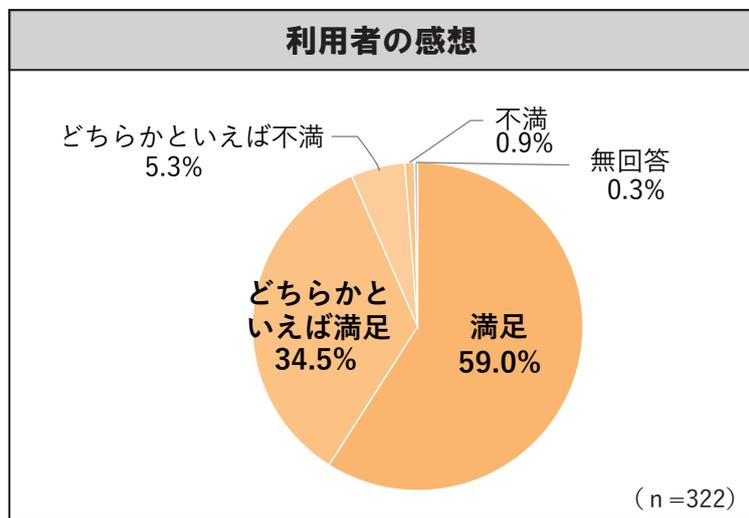
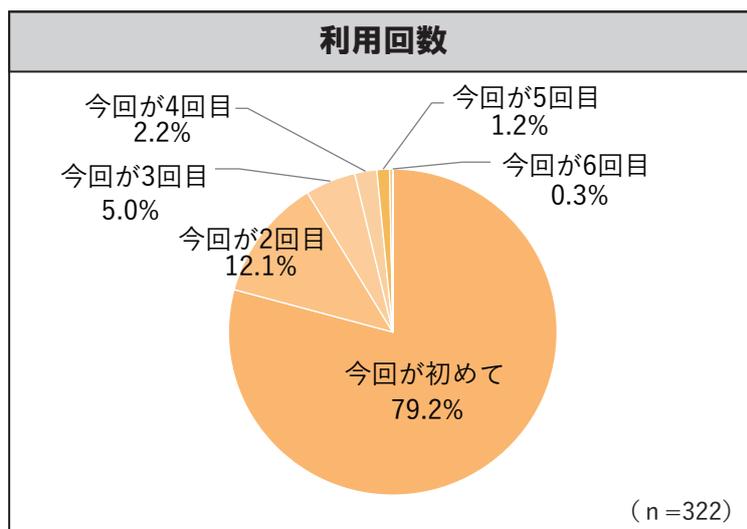
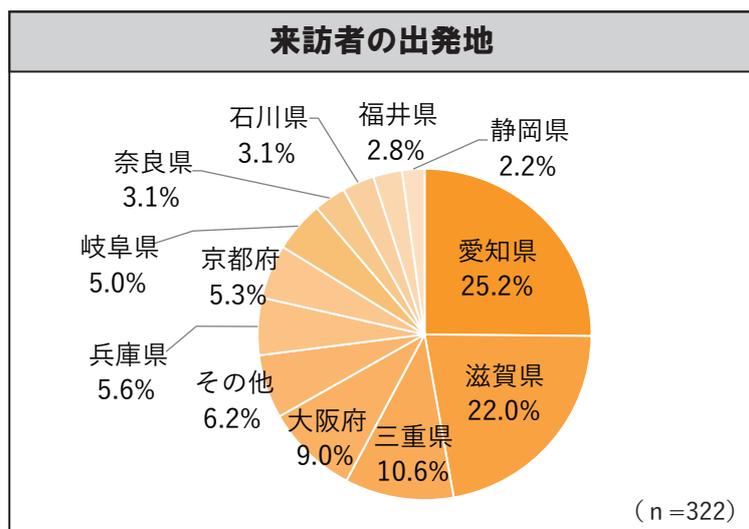
■パーク・アンド・バスライド利用者アンケート

「来訪者の出発地」は、愛知県と滋賀県で約半数の割合を占めています。また東海三県エリア（愛知・三重・岐阜）からの来訪が約41%と多くなっています。「利用回数」は、今回が初めてが約79%、複数回（リピート）利用が約21%となっています。

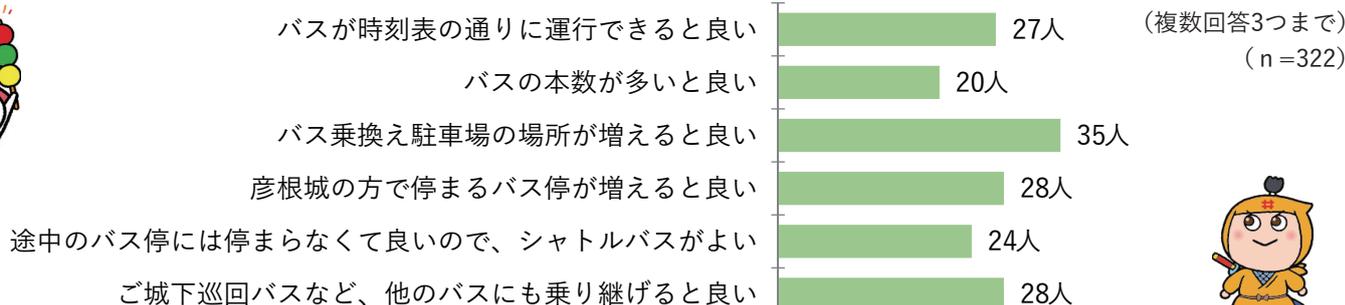
「利用者の感想」「次回も利用してみたいと思う」については、どちらもほとんどの利用者が「満足」、「利用してみたい」との回答をいただきました。

いずれも、これまでとほぼ同様の傾向となっています。

また、「改善」については、バスの運行について多くのご意見をいただきました。



改善できると良いと思うものは？

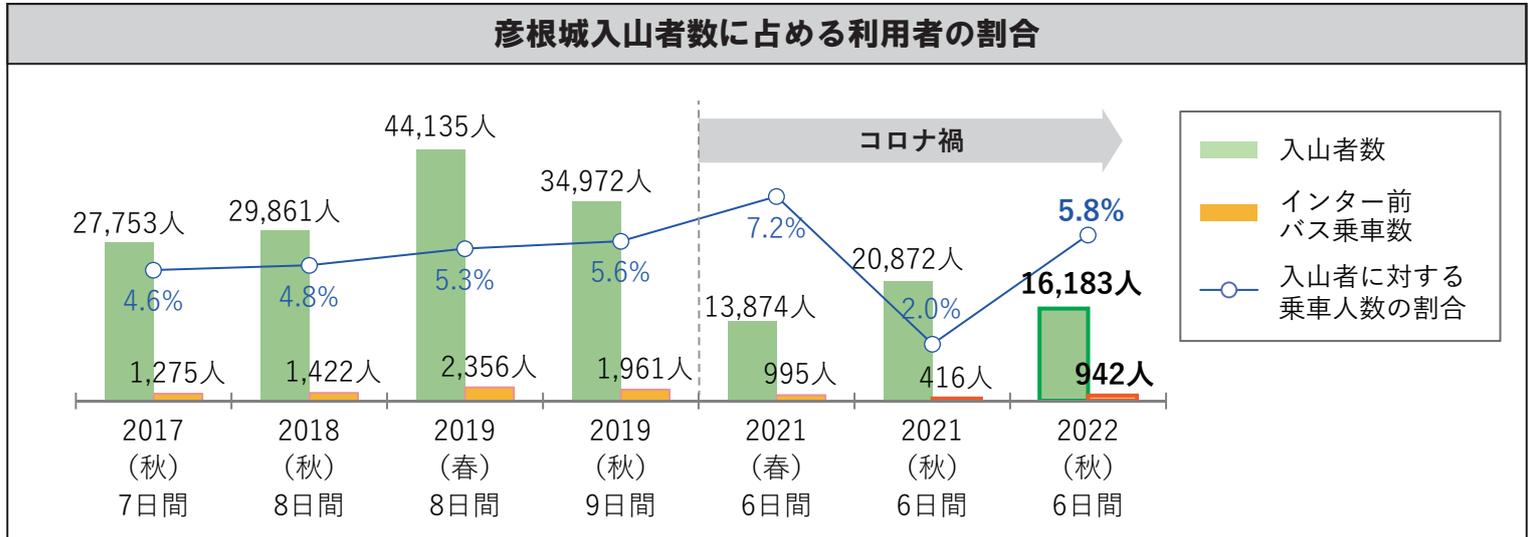




社会実験の結果【観光面】

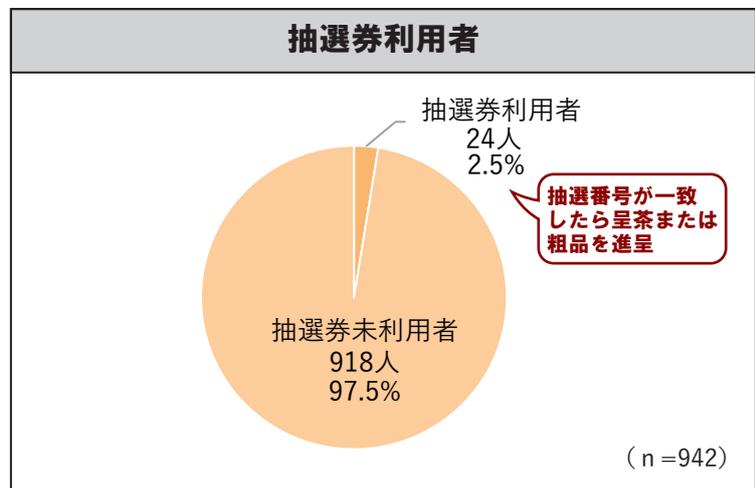
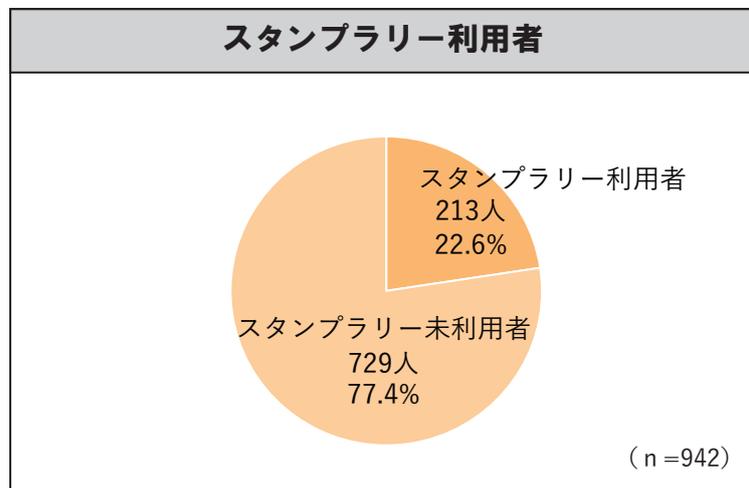
■利用者数（パーク・アンド・バスライド利用者の彦根城入山者数に占める割合）

彦根城入山者数に占める割合は、ご当地キャラ博の秋開催がなかった2021年秋は2.0%と落ち込んでいましたが、今回はコロナ禍前の5%前後まで戻りました。イベント開催がパーク・アンド・バスライド利用のきっかけのひとつであることがわかります。



■利用促進策

前回に引き続き、利用促進と商店街をまわっていただくよう、スタンプラリーと抽選券を実施しました。社会実験利用者のうち、スタンプラリーは22.6%、抽選券は2.5%の利用をいただきました。



当選番号掲示の様子 (聴鐘庵)



粗品の絵葉書 (博物館お茶席)

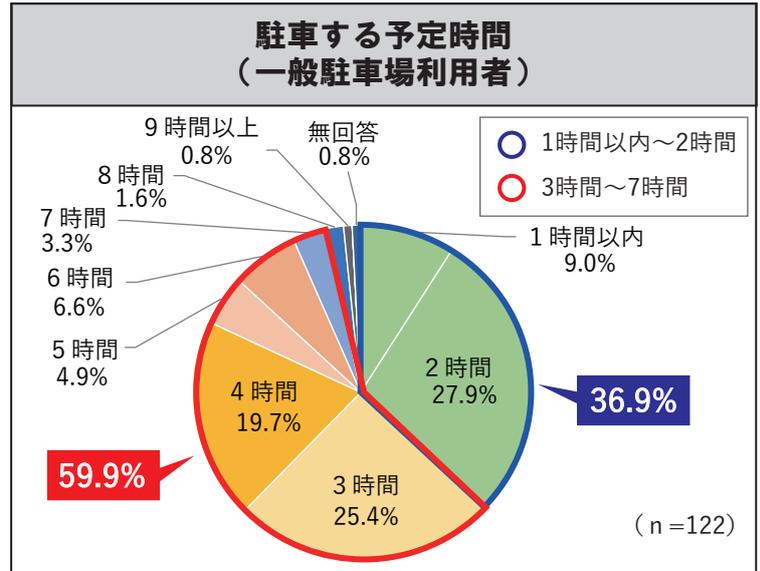
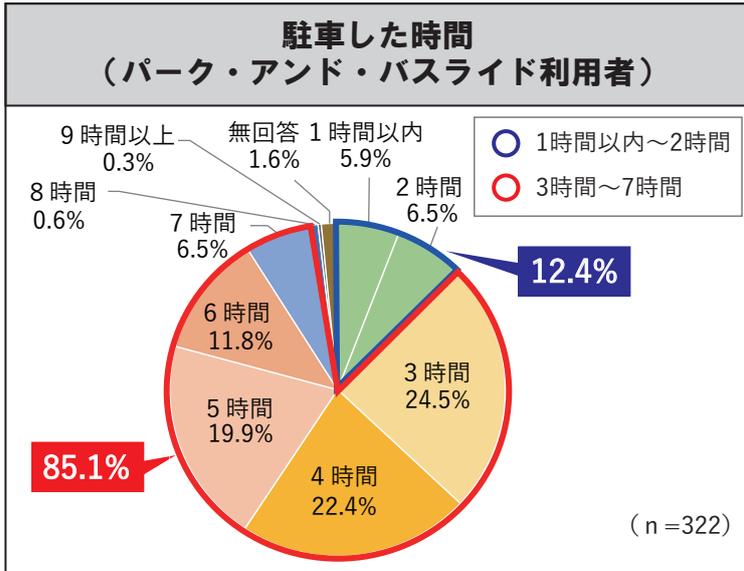


社会実験の結果【観光面】

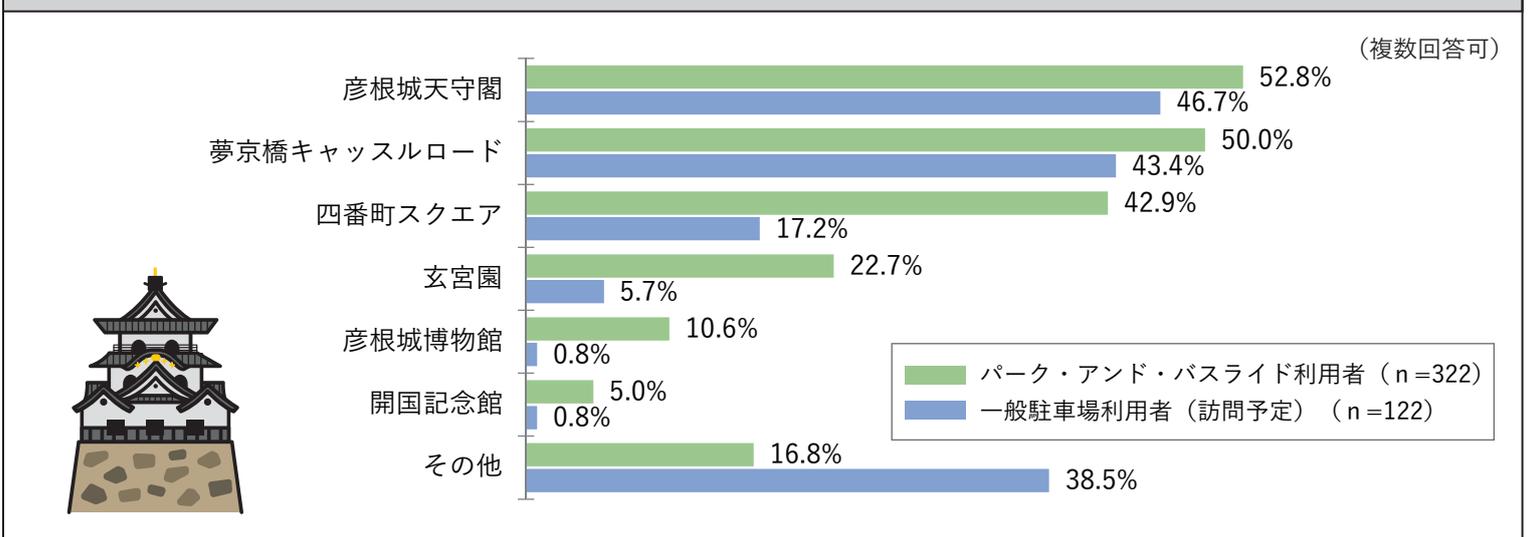
■パーク・アンド・バスライド利用者、一般駐車場利用者アンケート

円グラフで、長い時間（3時間～7時間）駐車した利用者の割合を比較すると、パーク・アンド・バスライド利用者が約85%、一般車駐車場が約60%となっています。このことから、パーク・アンド・バスライドを利用すると観光地に滞在する時間が長くなる可能性があると考えられます。

横棒グラフで、パーク・アンド・バスライド利用者と一般車駐車場利用者のどちらでも、約40%以上の人彦根城天守閣と夢京橋キャスルロードを訪問していることがわかります。パーク・アンド・バスライド利用者は、さらに四番町スクエア、玄宮園、彦根城博物館を訪問する割合が高く、回遊性が向上していることがわかります。



訪問観光施設





社会実験の結果【利用料金について】

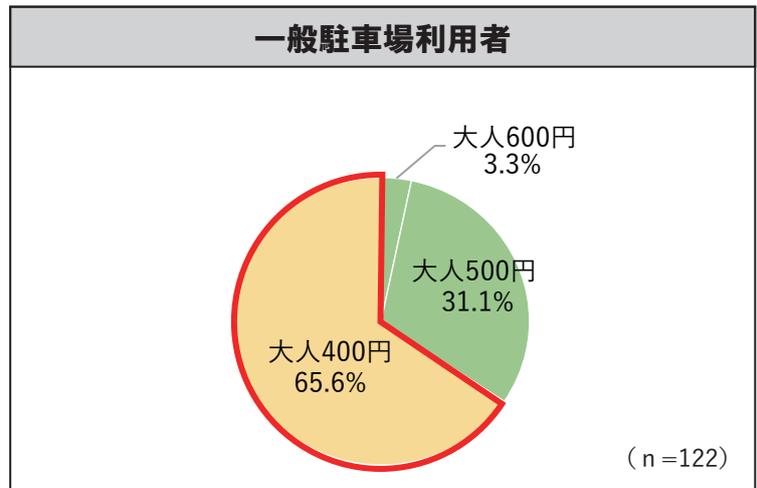
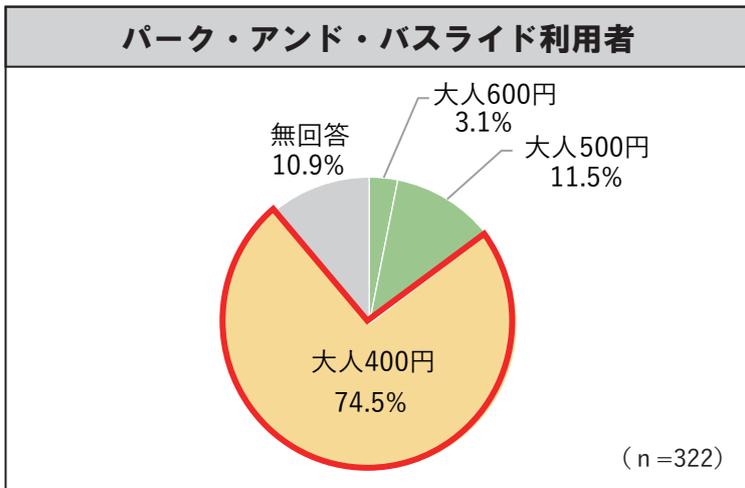
■パーク・アンド・バスライド利用者、一般駐車場利用者アンケート

前回2021年秋は、乗換え駐車場の協力金（駐車料金相当）として1台500円を徴収しました。今回2022年秋は、この駐車料金は無料、路線バスを一部、活用しながらバス運賃を徴収しました（大人400円/人(小児1人無料、2人以降200円/人)）。この運賃について、いくらであれば妥当と思われるかアンケートを行いました。

その結果、どちらの利用者も400円が大半を占め、なかでも実際に料金を支払いパーク・アンド・バスライドを利用した方の約75%が400円と回答しました。

また、500円、600円という回答もあり、路線バスの往復運賃より高くてもよいという考えの方が利用者でも10%以上いることがわかります。

今回のバス運賃は、いくらであれば妥当と思われますか？

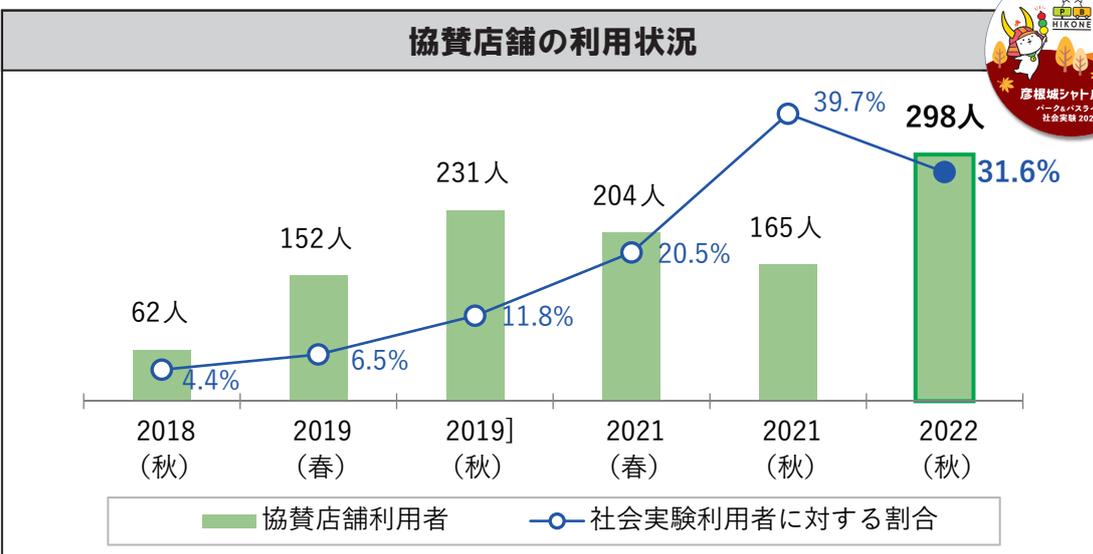


社会実験の結果【近隣商店街・協賛店舗】

■協賛店舗の利用状況

2018年秋の社会実験より始めた協賛店舗の実施は、社会実験の利用者がインター前駐車場で配布される缶バッジを提示することにより、特典を受けられるというものです。

協賛店舗を始めて6回目の今回は23店舗で実施され、協賛店舗利用者数の社会実験利用者数に占める割合は約32%でした。協賛店舗の浸透が徐々に進んでおり、観光活性化につながっていくことが考えられます。



オリジナル缶バッジの提示で協賛店舗の特典が受けられます！

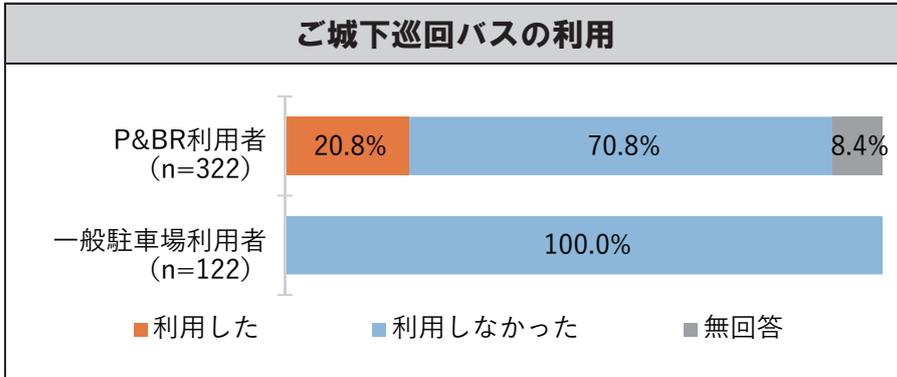




社会実験の結果【ご城下巡回バス・グリーンスローモビリティ】

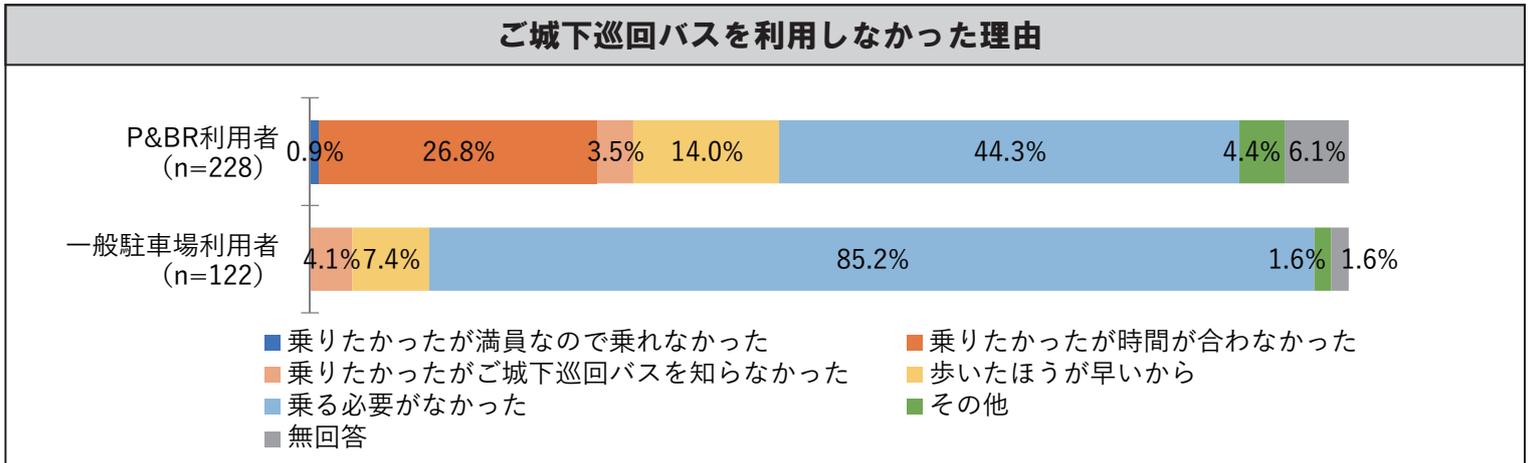
■ご城下巡回バス

今回の社会実験期間中（6日間）は、パーク・アンド・バスライドのシャトルバスの彦根駅等での乗換えにより周遊性を高めるため、ご城下巡回バスを15便増便し概ね30分に1本を、15分に1本と利便性を上げました。また、パーク・アンド・バスライドの一日乗車券でご城下巡回バスも利用可能としました。



パーク・アンド・バスライド利用者で、ご城下巡回バスをあわせて利用した人は約21%であり、彦根城周辺の観光周遊に貢献しました。なお、城内の一般駐車場利用者は、ご城下巡回バスを利用していない結果となりました（アンケート回答者）。

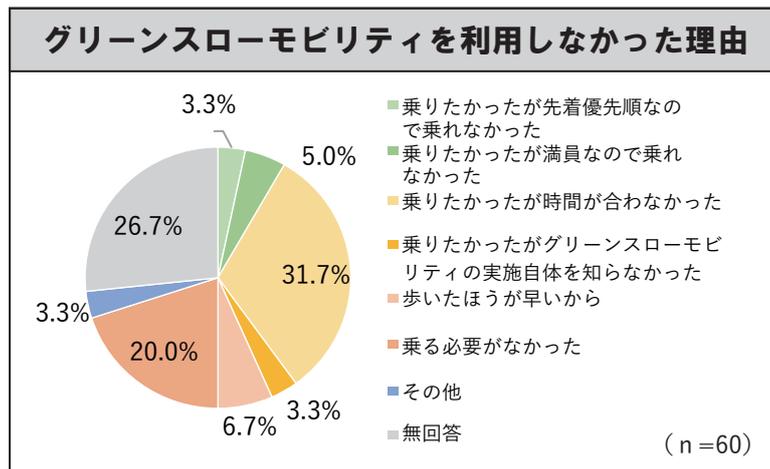
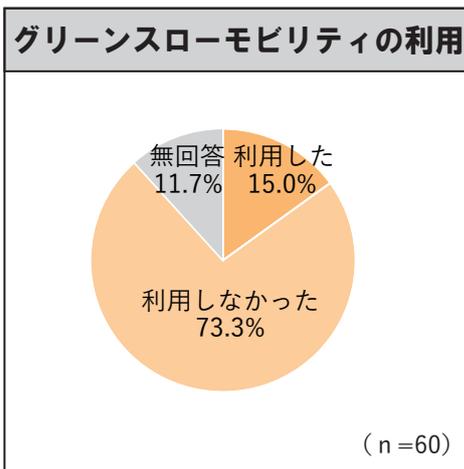
ご城下巡回バスを利用しなかった人の理由は、パーク・アンド・バスライド利用者で「時間が合わなかった」「乗る必要がなかった」が多く、一般駐車場利用者で「乗る必要がなかった」が多い結果となりました。



■グリーンスローモビリティ社会実験（10/28（土）～11/12（土）（11/3（木祝）を除く15日間））

パーク・アンド・バスライド社会実験期間と同時に、10/29（土）、10/30（日）、11/5（土）の3日間、グリーンスローモビリティ社会実験を実施しました。パーク・アンド・バスライド利用者で、グリーンスローモビリティをあわせて利用した人は約15%であり、彦根城付近へのアクセス性向上に貢献しました。

また、グリーンスローモビリティを利用しなかった人の理由は、「時間が合わなかった」「乗る必要がなかった」が多い結果となりました。



グリーンスローモビリティは、時速20km未滿で公道を走る電動車で、彦根駅と彦根城間を無料で走行しました。



新型コロナウイルス感染症対策

今回の社会実験においても、安全・安心してご利用いただけるよう、新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底して実施しました。

新型コロナウイルス感染症対策



- ・受付時の検温、手指消毒
- ・スタッフの健康管理



- ・お子様へオリジナルマスクの配布
(限定数)

社会実験の効果と課題、今後の予定

皆さまのご理解、ご協力のもと、本社会実験を2017年より2022年（春・秋）の7回にわたり実施してきました。彦根市パーク・アンド・バスライド実施協議会では、交通面・観光面の効果検証とともに、課題を抽出し、本格実施の検討を進める予定です。

■検証された効果

- ①観光シーズンの城内駐車場・市街地交通・生活道路の混雑を低減させる効果がある。
- ②公共交通利用としてバスに乗換えることから、CO₂排出量が削減される環境面の効果がある。
- ③交通混雑時の彦根ICから彦根城までのアクセス時間は、城内駐車場利用よりもパーク・アンド・バスライド利用の方が短縮できる効果がある。
- ④城内駐車場利用よりもパーク・アンド・バスライド利用の方が、滞在時間が長く、立寄る場所が多く、その結果、消費額増加につながる可能性が高くなる効果がある。
- ⑤利用者、近隣商店街の事業者は、当パーク・アンド・バスライドについて、定着することや市のイメージアップにつながることに、好意的であることがアンケート調査により把握できた。



■抽出された課題

- ①イベントのない日のパーク・アンド・バスライド利用者が少なく、彦根城入山者に占める割合や、需要そのものを高める必要がある。
- ②パーク・アンド・バスライド利用者の協賛店舗特典など、パーク・アンド・バスライドと合わせた観光促進策について、その実施主体や実施方法を本格実施に向けて検討する必要がある。

■今後の予定（状況により変更することがあります、あらかじめご了承をお願いします）

国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会の開催、彦根城の世界遺産登録に向けた本市にふさわしい交通システムとして、今後、本格実施について検討予定です。

今後も皆さまのご協力をお願いいたします。

【実施機関】彦根市

- 【協議機関】 彦根市パーク・アンド・バスライド実施協議会
- 【協議会構成】 学識（立命館大学・滋賀県立大学）／国土交通省（滋賀国道事務所・滋賀運輸支局）／滋賀県（湖東土木事務所）／彦根警察署／彦根商工会議所／彦根観光協会／NEXCO中日本／湖国バス（株）／彦根市
- 【事務局】 彦根市役所 歴史まちづくり部都市計画課
- 【事務局支援】 日本工営都市空間株式会社
- 【協力】 彦根ボランティアガイド協会

<2023年（令和5年）作成>